



## ◎依頼試験手数料、開放試験室設置機器等使用料の改定について

平成26年4月1日からの消費税の増税に伴い、本年3月の岐阜県議会の議決を経て「依頼試験手数料」及び「開放試験室設置機器等使用料」が改定される予定です。改定後の手数料及び使用料については、岐阜県議会の閉会后、準備が整い次第、ホームページなどで案内いたします。何とぞ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



依頼試験の様子

## ◎旧メールアドレスの使用停止について

今年度、県試験研究機関を接続しているネットワークサービスが新システムとなり、電子メールアドレスの移行期間が平成26年3月20日で終了します。@paper.rd.pref.gifu.jpで終わる紙業部代表メールアドレスや研究員のメールアドレスは、3月20日以降は使用ができなくなります。

もし、「旧メールアドレスしか知らない」、「新しいメールアドレスを覚えてもらったけどエラーになる」など電子メールでの連絡でトラブルがありましたら、ひとまず、新しい紙業部の代表メールアドレスにご用件を送信していただければ、対応をさせていただきます。

また、あわせてホームページのURLも変更になっておりますので、ご注意ください。

紙業部メールアドレス [paper@iri.rd.pref.gifu.jp](mailto:paper@iri.rd.pref.gifu.jp)  
紙業部ホームページ <http://www.iri.rd.pref.gifu.lg.jp/paper/>

## ◎平成25年度 新規導入装置の紹介（ガーレー透気度試験機）

紙業部では、ガーレー透気度試験機を新しく導入しました。

一定体積の空気が試験片を透過するのに要した時間を測定する試験機です。試験方法の解説は、産技セNews紙業部 2013年2月号にありますので、本誌では用語を簡単に説明します。

過去2回の改定で用語や試験結果の表し方が下表のように変わってきました。以前は「空気100mLが通過するのに要する時間」をわかりやすく「透気度」としていましたが、現行規定では「透気抵抗度」とされています。依頼試験では、どちらの結果を報告するか確認しています。また、開放試験室設置機器で利用されても、ISO透気度や透気抵抗度の表示切替が可能となりました。



ガーレー透気度試験機

- ・(株)東洋精機製作所製
- ・空気透過量：25/50/100/  
200/300mL
- ・透過面穴径：6/10/15/  
28.6mm（標準）

改定年	試験結果の表し方
2009	ISO透気度： $P=135.3/t$ [ $\mu\text{m}/(\text{Pa}\cdot\text{s})$ ] t：空気100mLが通過するのに要する時間 [s] 必要に応じてtを透気抵抗度として報告することも可
1998	ISO透気度： $P=127/t$ [ $\mu\text{m}/(\text{Pa}\cdot\text{s})$ ] 透気抵抗度（ガーレー）： $P' = t$ t：空気100mLが通過するのに要する時間 [s]
1980	透気度：空気100mLが通過するのに要する時間 [s]

## ○平成26年研究成果発表会のご案内

紙業部では、次のとおり平成26年度研究成果発表会を開催します。微小な溝を加工したプラスチックなどの基板を利用して化学分析を行うマイクロチップ分析という技術が注目されています。

今回、東京大学大学院 工学系研究科の三宅亮様をお招きし、マイクロチップの概要から紙ベースのマイクロチップ作製技術についてご講演いただきます。また、平成25年度に紙業部で行ってきた研究の成果を報告します。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。



昨年度の発表会の様子

### ■■ 日時・会場 ■■

平成26年4月15日（火）13:30～  
岐阜県産業技術センター紙業部

### ■■ 内 容 ■■

#### 【講演】

テーマ：「紙ベースのマイクロチップ作製技術」

講師：東京大学大学院 工学系研究科

国際工学教育推進機構、バイオエンジニアリング専攻 教授 三宅 亮 氏

#### 【研究成果発表会】

「熱可塑性CFRPの立体成形技術の確立」 神山真一

炭素繊維（CF）カットファイバーと熱可塑性繊維を配合した熱可塑性炭素繊維シートの作製法と物性強度や特性について検討しました。

「カキにおける輸出用長期貯蔵技術および品質保持技術の確立」 神山真一

柿の輸出や輸送時に使用する貯蔵用防湿段ボールを作製するために、防湿樹脂の塗工条件や評価法を検討しました。

「微細孔シートの抄紙技術に関する研究」 河瀬 剛

シートの微細孔化を施すために必要な叩解技術を探究し、サブミクロンの細孔径を有する薄葉シートの開発を検討しました。

「空気極用炭素材料の開発」 関 範雄

パルプや有機質繊維を配合した和紙から作製した導電性炭素紙の用途について検討しました。

※研究成果発表会終了後に希望者を対象に所内見学を行います。

### ■■ 申込み方法 ■■

下記申込書にご記入の上、FAX（0575-33-1242）にてお申し込みください。

岐阜県産業技術センター紙業部 研究成果発表会 参加申込書 開催日：H26/4/15

企業・機関名		連絡先	TEL
住 所			FAX
所属部課・役職		氏 名	

氏名等の情報について、第三者に情報を提供することはありません。